

流域治水の自分事化

令和8年3月12日
第12回 阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会
第7回 阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議

1) 令和7年度の取組フォローアップ

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(新潟市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 自主防災組織や任意団体からの依頼による出前講座等を実施(通年)

訓練活動

- 自主防災組織の活動支援(通年)

水防活動の支援

- 災害時の消防団との連携体制の強化(出水期前)

リスク情報等の提供

- SNSを通じた気象・防災情報の提供(通年)
- 緊急速報メールやLアラートを活用して市民へ情報提供(通年)
- 総合ハザードマップ、洪水・土砂災害等ハザードマップの周知(通年)
- 洪水ハザードマップ等の更新(通年)

水災害対策の支援

- 雨水浸透ます・貯留タンク設置への助成交付(通年)

計画策定

- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進(講習会を1回開催、11月、13施設参加)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(五泉市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 広報誌及びイベント等において水害・土砂災害等に関する啓発活動を実施(6・10月、2回)

教育活動

- 町内会や自主防災組織等からの依頼による防災出前講座(ハザードマップの説明、マイタイムラインの作成)(5~11月、4回、151人)
- 小中学校への防災学習等の開催(5~11月、4回、268人)
- 講師を依頼し、地域特性を踏まえた災害対策等を目的とした地域防災研修の開催(6月、2回、44人)
- 防災リーダー養成講座の開催(10月、1回、16人)



リスク情報等の提供

- 避難場所や経路等に関する情報の周知(気象・防災情報の提供)(通年)
- 河川監視カメラによる情報提供(通年、4箇所)
- 防災行政無線を活用して市民へ情報提供(通年)

訓練活動

- 水防訓練の実施(消防団による水防工法訓練)(6月、1回、221人)
- 住民参加型の地域防災訓練を実施(9月、1回、766人)
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組(通年)



水災害対策の支援

- 自主防災組織の資機材整備や活動等に対し補助金を支給(通年)

計画策定

- 防災会議を開催し、地域防災計画の見直し・更新(5月)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(阿賀野市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 洪水対応演習、災害対策車両等訓練、重要水防箇所の巡視等へ参加し、関係機関との連携を強化

流域治水の広報

- 広報誌で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施(3回)

教育活動

- 小中高の児童を対象に防災教育(講座)を実施(6回、301人)
- 防災塾における自治会等の防災講話(2回、78人)
- 新潟県と共催で親子防災セミナーを開催(1回、23人)
- 阿賀野市社会福祉協議会と共催で自主防災講和を開催(1回、20人)



リスク情報等の提供

- 阿賀野川及び中小河川に係る洪水ハザードマップの整備
- 安全安心メール・LINEの周知を、市ホームページ等への掲載、防災塾等で資料を用いて説明

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(安田地区、1回、544人)
- 消防団による水防工法講習を実施(1回、110人)



水防活動の支援

- 関係機関、水防団、消防団、防災隊等との連絡体制を確認
- 出水事前に発電機を古川樋門付近に設置し稼働の確認を実施

計画策定

- 要配慮者利用施設における避難確保計画の策定及び避難訓練の実施に関する助言・情報提供

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(新発田市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 自主防災組織等育成強化のため、職員派遣を行い、講座を実施(今年度41回実施)
- 市内小学校などで防災出前授業を実施。(今年度5校で実施)
- 避難支援セミナーを実施(参加数115名)
- 避難生活支援リーダー/サポーター研修の実施



リスク情報等の提供

- 防災情報の提供手段として、LINEを追加

訓練活動

- 総合防災訓練に合わせ、住民参加型の避難訓練を実施(参加住民人数450人)
- 地域住民が参加した避難場所への避難訓練の実施(各自治会主導で実施)
- 浸水想定区域図の要配慮者施設へ計画に基づいた訓練実施確認フォローを実施

水災害対策の支援

- 希望する自治会・自主防災組織への土のうの事前配布(10団体366個)
- 自主防災組織設立後、資機材整備や活動に対して補助金を支給(今年度20団体)

計画策定

- 新発田市防災LINEにマイタイムライン作成機能を追加



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(阿賀町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

広報活動

○広報誌による水害等に関する啓発活動を実施



水害に関する周知活動

○水害に関するパネル展を開催



教育活動

○小学校を対象とした防災学習(1回、18人)



リスク情報等の提供

○浸水センサ実証実験による浸水センサ機器の整備



○防災情報など配信のための阿賀町アプリを整備・普及啓発(16回、103人)



水防活動の支援

○重要水防箇所及び水害経験のある行政区に対し、水防資機材等を事前配備

訓練活動

○消防団及び関係機関による水防訓練を実施(1回、66人)



○地域みんなで考える防災講座(避難行動の確認など)を開催(5回、78人)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(新潟県土木部関係)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

○県が主体となり施設管理者向けの講習会を開催 (R7:新潟市)



教育活動

○地域を流れる河川への理解を深めてもらうため小学校への出前講座の開催(3校)



計画策定

流域治水の広報

- 土砂災害警戒情報システムによる土砂災害危険度情報等の周知
- 土砂災害警戒区域等の認知度向上
- 河川防災情報システムによる河川情報の周知

リスク情報等の提供



○国、自治体、消防団と連携した洪水対応演習、災害対策車両等訓練、重要水防箇所の点検を実施



○小学校の早出川ダム見学会の機会を利用しダムの役割や治水効果を説明(4校)



リスク情報等の提供

- 阿賀野川水系34河川の洪水浸水想定区域図の公表、土砂災害計画区域等の公表
- 防災アプリの普及啓発による避難に必要な情報の周知(通年)
- 雨量、水位、土砂災害危険度、土砂災害警戒区域等に関する情報の公開(通年)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(新潟県新発田地域振興局農村整備部)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

○排水機場の役割が伝わる見学会の開催(4回、71人)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(新潟地方気象台)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 関係機関と情報共有を図りながら、水災害教育へ適宜支援を実施(通年)

訓練活動

- 洪水予報伝達演習を実施(5月)

リスク情報等の提供

- 気象警報・注意報を発表し、現象ごとに警戒期間、注意期間、ピーク時間帯、雨量などの予想最大値を周知(通年)
- 気象状況に応じ、自治体に資料提供、情報伝達を適宜実施(通年)
- 市町村訪問により、避難判断基準の解説及び台長による首長訪問を実施し、市町村との連携を強化(通年)

計画策定

- 洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)活用にむけた地域防災計画の改定支援を適宜実施(通年)
- 国、県、自治体が災害発生前に取るべき防災行動を共有し、災害対応の向上を図るために、流域タイムラインを運用

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(北陸農政局)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- ニーズに応じた「田んぼダム」説明会
(北陸農政局)(要請無し)

水災害対策の支援

- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施
(北陸農政局)(通年)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議(阿賀野川河川事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 自治体と連携した洪水対応演習を実施(5月)
- 重要水防箇所の合同巡視により、自治体・消防団との連携を強化(5月)
- 内水排除等訓練の実施(5月)



教育活動

- 小学校の総合学習(出前講座・施設見学)の実施(4回、152人)



流域治水の広報

- 管内で「防災・インフラ整備について見る・知る・考える 阿賀野川流域パネル展」を実施(8箇所巡回、6月～10月)
- 土砂災害防止月間パネル展示を実施(5箇所巡回、6月)
- 地域FMIに出演し、流域治水に関する情報等の発信(10回、R7. 6月～R8. 3月)



○防災イベントの実施(アルビレックス新潟「防災デー」)



水防活動の支援

- 出水期前の水防資機材の整備

リスク情報等の提供

- 簡易河川カメラ、管内CCTV映像による情報提供
- 雨量、水位に関する情報の公開

訓練活動

- 自治体水防・防災訓練への参加



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

2) 令和8年度の取組計画・ロードマップ

阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度の取組計画

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- ダム放流時の通知通報の方法・連絡体制などの確認と意見交換を実施(東北電力、1回)
- 自治体、消防団等と連携した洪水対応演習、災害対策車両等訓練、重要水防箇所の点検等を実施(新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・東北電力(株)・新潟県・気象台・阿賀野川河川・JR東日本)
- 重要水防箇所での水防活動に関して河川管理者と自治体の連携を強化(新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・阿賀野川河川)
- 樋門・樋管、水門等の操作員との連携を強化(新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・新潟県・阿賀野川河川)
- 社会科見学等の機会を利用し、ダム、排水機場、砂防堰堤等の役割や効果、必要性を説明(新潟県・阿賀野川河川)

教育活動

- 町内会や自主防災組織等からの依頼による出前講座の実施(新潟市・五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川、150人)
- 小中学校への防災教育、出前授業の実施(五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・新潟県・気象台・阿賀野川河川、300人)
- 防災リーダー養成講座、地域防災訓練の実施(五泉市・新発田市、100人)
- ニーズに応じた「田んぼダム」説明会(北陸農政局)
- 避難生活支援リーダー/サポーター研修の実施(新発田市)

訓練活動

- 自主防災組織の活動支援(新潟市・阿賀町)
- 消防団による水防工法訓練(五泉市・阿賀町・阿賀野川河川、2回、370人)
- 住民参加型の地域防災訓練(五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町、1000人)
- 自治会主動の避難訓練(阿賀野市・新発田市、100人)

水防活動の支援

- 水防団、消防団等との連絡体制の強化(新潟市・阿賀野市・阿賀町・気象台)
- 出水期前の水防資機材等の点検(阿賀野市・阿賀野川河川)

流域治水の広報

- 広報誌や防災イベント等で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施(五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川)
- 広報誌でダム放流に関する啓発活動を実施(東北電力(株)、1回)
- ポスターでダム放流に関する啓発活動を実施(東北電力(株)、1回)
- 上流域と連携した広報活動を実施(阿賀野川河川)
- 生成AIを活用した流域治水動画による広報活動を実施(阿賀野川河川)

リスク情報等の提供

- まるごとまちごとハザードマップの設置(阿賀野市・阿賀野川河川)
- 内外水統合のリスクマップの検討・公表に向けた調整(阿賀野川河川)
- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等の公表(新潟県)
- 洪水ハザードマップ等の更新(新潟市)
- 各種ハザードマップの周知、住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組(新潟市・五泉市・阿賀町)

- メール、SNS、Lアラート等を利用した住民への防災情報等の提供(新潟市・五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川)
- 防災アプリの普及啓発による避難に必要な情報の周知(阿賀町・新潟県)
- 防災メール等の利用者増加に向けた周知活動(阿賀野市・新発田市・阿賀町)
- 避難場所や経路等に関する情報の周知(気象・防災情報の提供)(五泉市)
- 河川監視カメラによる情報提供(五泉市・新潟県・阿賀野川河川)
- 気象情報の発表・充実、予測精度の向上(気象台)
- キキクル(危険度分布)の改善(気象台)
- 雨量、水位、土砂災害危険度、土砂災害警戒区域等に関する情報の公開(新潟県・阿賀野川河川)
- ホームページにおける河川水位、ダム情報等の提供(阿賀町・東北電力(株)・新潟県・阿賀野川河川)
- ワンコイン浸水センサの設置及び実証実験への参加(阿賀町)
- 新しい防災気象情報の運用開始、予報精度の向上(線状降水帯の予測精度向上等)に向けた取り組み強化(気象台)

水災害対策の支援

- 雨水浸透ます・貯留タンク設置への助成金交付(新潟市)
- 自主防災組織設立後、資機材整備や活動等に対し補助金を支給(新発田市)
- 希望する市民への土のうの事前配布(新発田市・阿賀町)
- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施(北陸農政局)

計画策定

- 要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進(新潟市・新発田市・阿賀町・新潟県)
- 避難確保計画を策定した要配慮者利用施設等に対する避難訓練の支援(阿賀野市・阿賀町)
- マイ・タイムラインの作成および住民への周知(阿賀野市・新発田市)
- 地域防災計画の見直し・更新(五泉市・阿賀町・気象台(支援))
- 流域タイムラインの運用・見直し(新潟市・五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・新潟県・気象台・阿賀野川河川)
- 立地適正化計画の防災指針策定を含めた計画改定に着手(新潟市)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>広報誌や防災イベント等で水害・土砂災害の啓発活動を実施（五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川）</p> <p>● 広報誌でダム放流に関する啓発活動を実施（東北電力(株)）</p>	<p>● ポスターでダム放流に関する啓発活動を実施（東北電力(株)）</p>		
<p>◎連携活動 地域 個人 </p>	<p>● ダム放流時の通知通報の方法・連絡体制などの確認と意見交換を実施（東北電力(株)）</p>	<p>自治体、消防団等と連携した洪水対応演習、災害対策車両等訓練、重要水防箇所等の点検等を実施（新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・東北電力(株)・新潟県・気象台・阿賀野川河川・JR東日本）</p> <p>重要水防箇所での水防活動に関して河川管理者と自治体の連携を強化（新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・阿賀野川河川）</p>	<p>樋門・樋管、水門等の開閉調整を実施する操作員との連携を強化（新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町・新潟県・阿賀野川河川）</p>	<p>社会科見学等の機会を利用し、ダム、排水機場、砂防堰堤等の役割や効果、必要性を説明（新潟県・阿賀野川河川）</p>

令和8年度:自分事化に向けた取組のロードマップ

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p>		<p>まるごとまちごとハザードマップの設置 (阿賀野市・阿賀野川河川) ●</p>		
		<p>内外水統合のリスクマップの検討・公表に向けた調整 (阿賀野川河川)</p>		
		<p>浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表 (新潟県)</p>		
		<p>洪水ハザードマップ等の更新 (新潟市)</p>		
		<p>各種ハザードマップの周知、住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組 (新潟市・五泉市・阿賀町)</p>		
		<p>メール、SNS、Lアラート等を利用した住民への防災情報等の提供 (新潟市・五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川)</p>		
		<p>防災アプリの普及啓発による避難に必要な情報の周知 (阿賀町・新潟県)</p>		
		<p>防災メール等の利用者増加にむけた周知活動 (阿賀野市・新発田市・阿賀町)</p>		
		<p>避難場所や経路等に関する情報の周知 (気象・防災情報の提供) (五泉市)</p>		
		<p>河川監視カメラによる情報提供 (五泉市・新潟県・阿賀野川河川)</p>		
		<p>気象情報の発表・充実、予報精度の向上 (気象台) / キキクル (危険度分布) の改善 (気象台)</p>		
		<p>雨量、水位、土砂災害危険度、土砂災害警戒区域等に関する情報の公開 (新潟県・阿賀野川河川)</p>		
		<p>ホームページにおける河川水位、ダム情報等の提供 (東北電力(株)・新潟県・阿賀野川河川)</p>		
		<p>ワンコイン浸水センサの設置及び実証実験への参加 (阿賀町)</p>		

令和8年度：自分事化に向けた取組のロードマップ

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <hr/> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>町内会や自主防災組織等からの依頼による出前講座等の実施（新潟市・五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・阿賀野川河川）</p> <p>防災リーダー養成講座、地域防災研修の実施（五泉市・新発田市） ●</p>	<p>小中学校への防災教育、出前授業の実施（五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町・新潟県・気象台・阿賀野川河川）</p> <p>避難生活支援リーダー/サポーター研修の実施（新発田市） ●</p>		
	<p>ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催（北陸農政局）</p> <p>消防団による水防工法訓練の実施（五泉市・阿賀町・阿賀野川河川） ●</p> <p>住民参加型の地域防災訓練の実施（五泉市・阿賀野市・新発田市・阿賀町） ● ●</p>			

令和8年度：自分事化に向けた取組のロードマップ

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
③ 行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 <hr/> ◎水災害対策の支援 個人 <hr/> ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				
		● 地域防災計画の見直し・更新（五泉市・阿賀町・気象台）		
		出水期前の水防資機材等の点検（阿賀野市・阿賀野川河川）		